OceanBridge
つかえるITを、世界から。

OceanBridge
MAGAZINE

Vol.25
2019 Summer

つかえるITを、世界から。
Useful IT from all over the world.

OceanBridge Topics ……p02－03

新製品リリース
データ圧縮ソフト「NXPowerLite ビデオ」

Brava 製品情報 ……p13

株式会社竹中工務店様 事例紹介

Surfly 製品情報 ……p15

株式会社フォトラクション様 事例紹介

ISL Online 製品情報 ……p11

新ライセンス
プライベートクラウド for Azure

www.oceanbridge.jp
株式会社オーシャンブリッジ

新製品リリース

NEW!

NXPowerLite™ ビデオ

お待たせしました！

お客様から多数お問合せをいただいておりました、データ圧縮ソフト「NXPowerLite」（エヌエックス・パワーライト）シリーズの動画対応版を、2019年7月30日に新たにリリースいたします！※
「NXPowerLite ビデオ」は、ファイルサーバー内の動画ファイル（MP4、MOV形式）を一括で効果的に圧縮することでストレージ容量不足を解消し、効率的なサーバーリソースの活用を実現します。

※ 開発状況により変更の可能性があります

圧縮の仕組み

「圧縮なし」の場合 …… すべての映像データを記録します

「圧縮あり」の場合 …… 変化している部分だけを記録します（フレーム前後で変化がない領域は前フレームのデータを流用します）

ファイル形式、拡張子、フレームレート、解像度は変更されず、圧縮前のファイルと見た目も変わりません。

対応ファイル形式	MP4（.mp4、.m4v）	MOV（.mov）

対応OS	Windows Server 2008 R2 SP1、2012、2012 R2、2016
	Windows Storage Server 2008 R2 SP1、2012、2012 R2、2016
	Windows 7 SP1、10/64 bit（体験版）

※ Windows Storage Server は OEM 供給元によって独自のカスタマイズが行われている場合があり、使用できる機能などもその供給元によって異なる可能性があります。

※ 対応 OS であれば、仮想デスクトップ環境上でもご利用いただけます。（仮想アプリケーション環境上では利用できません）

主な特長

シンプルなUI

使い勝手の良いシンプルなユーザーインターフェースで簡単に操作できます。圧縮中はステータスバーで進捗状況を確認できます。

CPU利用率の変更

圧縮時のCPU利用率を「高」「中」「低」から選択できます。

レポート機能

簡単な圧縮の結果をUI上で確認できます。1ファイルずつの処理結果をCSV形式で出力することも可能です。

ネットワーク経由の圧縮

Windowsサーバーにインストールしてご利用いただけます。Windowsサーバー以外のファイルサーバーは、ネットワーク経由でフォルダーを選択して圧縮できます。

◆ NXPowerLiteビデオ 導入のメリット ◆

1. ストレージ容量不足の解消
2. バックアップ・リストア ウイルススキャン時間の短縮
3. ネットワーク負荷の軽減
4. クラウド利用時のコスト削減
5. ファイルサーバーのリプレース および統合の時間とコスト削減
6. iPadでの表示速度向上

NXPowerLiteビデオに関するご質問やご要望は、Webページからお気軽にお問合せください。

NXPowerLite 問い合わせ

Useful IT from all over the world.

つかえるITを、世界から。

海外には、日本でまだ知られていないソフトウェアや IT サービスが数多くあります。
オーシャンブリッジはその中からお客様に喜ばれる本当に便利でユニークな製品を見つけ出し、
日本のお客様に最適なかたちでお届けします。
海外のテクノロジーと日本市場をつなぐ「架け橋」として、日本の産業に貢献していきます。

日本市場における豊富な実績と強固な事業基盤

これまで米国製、英国製、スロベニア製、オランダ製を中心に、サーバーソフトウェア、デスクトップソフトウェア、クラウドサービスなどを数多く立ち上げてきました。
これらソフトウェアや IT サービスを、50 社を超える国内パートナー企業との販売・技術・マーケティング面でのアライアンスを通じ、大手企業を中心とする数万社のエンドユーザー企業に対して販売し、サポートを提供しています。
こうした豊富な実績と強固な事業基盤を活かし、今後も続々と新しい IT ツールを海外から発掘し、日本市場に提供していきます。

オーシャンブリッジのバリュー

海外のテクノロジーと日本の顧客ニーズを結び付ける最適なシナリオを構築できるのが、オーシャンブリッジのバリューです。
海外の IT ベンダーに対しては、テクノロジーと日本市場を最短距離で結び付ける、事業戦略・マーケティング戦略・販売戦略などの事業展開シナリオと、広範なパートナー＆顧客ネットワークにより、スピーディな事業立ち上げ・収益拡大を実現します。
国内のパートナー企業に対しては、システム連携によるソリューション構築や共同マーケティングなどを通じた、海外の最新テクノロジーと自社ビジネスを結び付けるための協業シナリオにより、新たなビジネスチャンスをもたらします。
国内のエンドユーザー企業に対しては、海外発の最新ソリューションにより業務課題を解決し、投資対効果をあげるために、ニーズに合わせた活用提案や、ケーススタディなどの様々な活用シナリオを提供します。

ビジネスモデル

海外製のソフトウェアや IT サービスを発掘・ローカライズ（日本語化）し、日本市場に合った形で国内パートナー企業とのアライアンスを通じて、幅広くエンドユーザーに販売しています。製品選定の基準は、私たち自身が 1 ユーザー、1 ビジネスパーソンの視点で「これは便利！」「ぜひ使いたい！」と心から思えるかどうか。
そうした本当に“つかえる”IT ツールを、幅広いパートナーネットワークと安心のサポート体制を通じて、日本市場に提供しています。

オーシャンブリッジの "つかえる" ソフトウェア&サービス

主要海外 IT ベンダーと主な取り扱い製品

ワンタイム+常駐接続で使えるリモートコントロール

islonline

XLAB NOT IDLE

離れた場所の PC 同士で画面共有を行う「ワンタイム接続」、遠隔地にあるサーバーや出先で iPhone や iPad などから社内の PC に接続可能な「常駐接続」、複数のユーザー間で画面共有やチャットが可能な「Web 会議」を 1 つのライセンスで利用できるリモートコントロールツールです。セキュリティポリシーに合わせてオンプレミス、プライベートクラウド、パブリッククラウドの 3 つのライセンスを選択できます。

データ圧縮ソフト

NXPowerLite™

neuxpower MAKING FILES SMARTER™

容量の大きい Microsoft Office、JPEG、PDF ファイルなどをファイル形式はそのままに、最大 50 分の 1 に圧縮するソフトウェアです。用途に合わせてデスクトップエディション、ファイルサーバーエディション、ソフトウェア開発キット(SDK)で展開しています。

高速・多機能ビューア

BRAVA!®
BLAZON®

OPENTEXT™

AO 大判長尺の TIFF や HPGL など様々な形式のファイルを高速表示し、スムーズな操作性と業務効率化に特化した機能が備わっているビューアです。Brava Desktop、Brava サーバー連携版のエディションで展開しています。Blazon はあらゆるフォーマットを自動変換するマルチフォーマットコンバータです。

画面共有ツール

Surfly

Surfly

簡単に安心してすぐにつながる Web 画面共有ツールです。ソフトウェアのダウンロードやインストールが一切不要で、ブラウザさえあればいつでも手軽に対象の Web ページのみを画面共有できます。テキストチャットの他にビデオチャットも標準で搭載されており、双方向での円滑なコミュニケーションが可能です。

海外出張レポート

～Surfly開発元（オランダ）訪問～

2019年５月、弊社営業の辻元と、技術部の柳・中嶋の３名でオランダ（アムステルダム）に渡り、Web画面共有ツール「Surfly」の開発元を訪問してきました。

1 Surfly社訪問

Web画面共有ツール「Surfly」の開発元であるSurfly社は、アムステルダムの中心地に位置するライツェ広場と呼ばれるバーやレストランなどで賑わう繁華街からすぐの建物の一角にオフィスを構えており、抜群のアクセスを誇っています。オフィスは広々とした開放感のある内装で、各自のデスクやテレビ会議スペースはもちろん、キッチン、ソファー、テーブルフットボールなどといった息抜きグッズまで必要な物がすべて用意されています。

Surfly社は10人強の少人数の会社ですが、なんと母国語のオランダ語が話せる人はわずか２人ほどだそう。日本では考えられないほどの多種多様な生活がそこにあり、この環境を生かして各々が最高のパフォーマンスのために知恵を出し合うことがクリエイティブな仕事に繋がっているのかもしれません。

Surflyは社内では今年４月に製品の主幹業務を「新規事業推進グループ」から「パートナー営業部」と「技術部」に移管しており、以前来日したCEOのNicholasを除き、Surfly社のメンバーとはメールやチャット、テレビ会議でしか連絡したことがありません。今回は全員がSurfly社初訪問ということで、皆表情に心なしか緊張感が漂っていました。

2 技術ミーティング

技術ミーティングでは、技術責任者・開発者・カスタマーサポーターなど幅広い分野のメンバーを交え、これからお客様に親しみをもって幅広くSurflyを活用していただけるよう、製品リリース・保守サポートに関する技術的な話題を取り上げたほか、これまで以上に安全かつ安定したサービスを提供できるよう、サーバーの構成やセキュリティ面などの確認を行いました。また、Surflyは昨年７月、オーシャンブリッジとの提携により日本へ初進出することとなったため、セキュリティに関するチェックシートなど、日本でソフトウェアを販売する上で求められる要件の共有を行いました。オーシャンブリッジはSurflyと似たソリューションであるリモートコントロールツール「ISL Online」の取扱実績があるため、そこで蓄積したノウハウを活かして情報共有を行うことで、より具体的にイメージを掴んでもらうことができました。

3 Surfly技術者認定トレーニング

Surfly社では、スムーズな導入支援からトラブルシューティングまでを行えるSurfly技術者の育成を目的とした「技術者認定トレーニング」を実施しています。トレーニングは製品の大まかな概要からブラウザの特性、セキュリティ、Cookieといった技術的な内容までを幅広くカバーしており、技術部メンバー全員がこのトレーニングを受講しました。デバック方法やツールを含め、実際の画面操作を見ながらトレーニングを受講することで、Surfly技術者に必要な知識やお客様のサポートに役立つ知識が得られ、とても有意義な時間となりました。ふとした疑問をすぐに消化できたことも、面と向かって会話をする上でのメリットである上に貴重な体験だと感じました。

4 Connected Insurance Europe 2019に参加

技術部メンバーがミーティングを実施している間、営業はINSURANCE NEXUS主催のイベント「Connected Insurance Europe 2019」のセミナーに参加し、海外の保険業界に関する情報収集を行いました。会場はヨーロッパの金融・保険業界で有名な企業様が数多く集まり、ITを活用した最近の取り組みについて有益な情報を得ることができました。参加企業はヨーロッパの方が中心でしたが、日本の企業様もプレゼンターとして参加されていました。

5 最終日

最終日にはSurfly社のお気に入りのレストランへ行き、残されたわずかな時間を一緒に楽しみました。この日は私たちと過ごす最後の夜ということで、開発者・営業・マーケティングなどSurfly社の様々なメンバーが参加してくれました。まだ新規事業として開始して間もないにも関わらず、私たちの訪問を会社として歓迎してくれていることを強く感じ、胸がいっぱいになりました。

滞在期間中の３日間、多種多様な生活の中で活躍する彼らの活気を肌で感じながら仕事をするのは非常に刺激的でした。実際に会って会話をしたことで、インターネット上でのやり取りでは感じ取れない彼らの人柄や雰囲気などを知ることができ、この経験を通じて業務理解だけでなく彼らとの信頼関係が大きく深まったと実感しています。今後、お客様にSurflyを活用していただくための大きなステップとなるような、価値のある、また有意義な出張となりました。

海外出張レポート

弊社営業の井下と、技術部の田貝・加納の3名で
アメリカ合衆国のアリゾナ州（フェニックス）に渡り、
高速・多機能なファイルビューア「Brava/Blazon」の
開発元であるOpenText社を訪問してきました。

OpenText社とは?

Brava/Blazon製品の開発元であるOpenText（オープンテキスト）社は、1991年に検索エンジンを提供する会社として設立され、現在ではEIM(Enterprise Information Management)分野でのリーディングカンパニーとして知られています。
世界中にオフィスを構え、本社はカナダのウォータールーにありますが、Brava/Blazon製品のビジネスの拠点はアメリカ合衆国のフェニックス近郊にあります。オーシャンブリッジではこの拠点にいるセールスや製品担当者に直接コンタクトし、製品ロードマップや日本市場への展開について日々ディスカッションを行っています。

現地での打合せ

開発元のBravaのサーバー製品担当、デスクトップ製品担当、セールス担当、セールスエンジニア４名と打合せを行いました。日々の協力のお礼を伝えた後、日本での製品業績報告やお客様からのご要望、機能改善リクエストを共有したほか、海外のビジネスアップデートや製品ロードマップなどの情報収集を行いました。

普段もテレカンやメールなどでやり取りはしているのですが、実際に顔合わせて会話してみて、今後のビジネス協業についてより深い議論ができたと感じました。

技術部コメント

通常、開発元が提供しているサポートシステムを通して機能追加をリクエストするのですが、今回の出張で、日頃頂戴しているお客様の声を製品の開発担当者に直接届けることができました。サポートシステムを経由すると、背景や意図が伝わりにくい部分も正直ありますが、今回直接打ち合わせができたことで、日本のビジネス状況や使い方等の背景も含めて説明できました。先方からも「日本での使い方が理解でき、有益な情報をありがとう」とも言っていただけました。日本から発信する機能リクエストに対しても、前向きに検討してくれると思います。

セドナ訪問

せっかくの機会なので、空き時間は少しだけ足を延ばし、セドナという町に行ってきました。ネイティブ・アメリカンの聖地でスピリチュアル、パワースポットとしても知られているようですが、グランドキャニオンの入り口ということもあり、各所で絶景がみられました。仕事をやり終えた後だったこともあり、気分爽快。また、いつか来てみたいと思いました。

最終日に感じたこと

夜は高級なステーキハウスにご招待いただきました。開発元からはセールスのエグゼクティブにあたる方2名も合流してくださり、大変盛り上がりました。安直ですがお酒も入り、コミュニケーションも深めることができたように思います。

技術部コメント

OpenText の技術サイドの方々とお会いするのは初めてだったので、技術グループとしてとても良い機会でした。お会いした方々はとても親切に接してくださり、2 日目には仕事の話半分・他愛もない話半分で、美味しい朝ごはんをご一緒できたことが特に楽しかったです。
帰国してみると、メールでしかやり取りしていなかった出張前よりも、信頼関係が格段に強まったなと感じました。普段のメールからも親しみやすさを感じ、やり取りのスピードも上がり、以前よりもお願いや質問がしやすくなりました。とても有意義な出張でした。

オーシャンブリッジは、海外のテクノロジーと日本市場をつなぐ「架け橋」をミッションとしています。
お客様により満足のいく製品をご提供できる「架け橋」となれるよう、今後もOpenText社と協力して一層努力に励んでまいります。

オーシャンブリッジの活動

オーシャンブリッジではミッションと進むべきビジョンを実現するために、社員が行動する際に意識すべき心構えとして５つの「OB Hearts」(やり抜く意志、主体性、向上心、好奇心、チームワーク)を掲げています。
このOB Heartsを浸透させるため、社内ではさまざまな活動が行われていますが、今回はヤフー株式会社様でご活躍中の市川様にお越しいただき、「ビジネスパーソンのコンディショニング・リテラシー」をテーマに特別にご講演いただきました。

市川 久浩(いちかわ ひさひろ)様
ヤフー株式会社 グッドコンディション推進室長
YG健康保険組合 常務理事
ワーク＆ウェルネス株式会社 代表取締役

ご講演の内容(一部ご紹介)

ビジネスパーソンとして働くすべての人にとって、健康ほど重要で大切なものはないと言っても過言ではありません。事業を推進するためには戦力である「コンディション(心身の調子・状態)」が整っている必要があり、働く人が心身ともにグッドコンディションを維持し、公私ともにベストパフォーマンスを発揮できるように取り組む必要があります。
講演では、経済産業省が公開している平均寿命と健康寿命などの資料データを見ながら、日本がこれから取り組むべき問題を理解し、社会の高齢化率が急速に高まる中で、社会保障費の拡大が財政を圧迫し、労働力の減少に伴う経済活動の停滞が懸念される今だからこそ、すべての企業が「健康経営」に真剣に取り組む必要があることを教えていただきました。

出典:「健康経営の推進について」平成30年7月(経済産業省 ヘルスケア産業課)資料より抜粋
経済産業省ウェブサイト
(https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/kenko_keiei.html)

OB社員の感想

健康経営そのものだけでなく、なぜ今健康経営が日本全体で推進されているのかの理解が深まりました。また、ヤフーで実施されている取り組みを聞くことができ勉強になりました。

健康と仕事は深く関わっているのだと改めて気づきました。健康な生活があってこそ仕事ができますし、仕事ができても不健康だったら生活の質は下がるだけだと思いました。長生きしたいため、個人でできることは意識して、今後は生活していこうと思います。

OB Heartsのうち、今回は特に「好奇心」を刺激し、「主体性」をもって自身の健康や生き方を考える良い機会となりました。
今後も自分達の能力を活かし、継続的に成長し続けられるよう努力していきます。

islonline

ワンタイム＋常駐接続で使えるリモートコントロールツール

プライベートクラウド

- サーバー構築不要
- シングルテナントで運用
- サーバーは冗長構成
- ￥3,000,000～

PRIVATE CLOUD

■ 新ライセンス プライベートクラウド for Azure

プライベートクラウドライセンスMicrosoft Azure版の販売を開始しました! セキュアなテレワークを実現するため、Microsoft Azure上の複数のインスタンスにISL Onlineサーバーを冗長構成で設置し、契約企業だけのシングルテナント環境を実現します。Microsoft Azure東日本リージョンと西日本リージョンに分散設置した「契約企業様専用」のサーバーを用意して提供するサービスです。運用開始まで1か月での実績がございます。

※Microsoft Azureは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
※本件におけるMicrosoft Azureは、SB C&S株式会社様経由で販売されるインスタンスに限定されています。

製品の詳しい情報は、Webサイトをご覧ください。 ISL Azure

BRAVA! for FileServer®

ファイルサーバーを Web ポータル化する文書共有ソリューション

Brava for FileServerとは？

ファイルサーバーに保存した文書や図面ファイルを、ファイルサーバーのフォルダ構造のままWebポータルに変換して公開するソリューションです。オリジナルファイルではなく、表示専用に変換されたデータを閲覧するため、テキストコピーや印刷、またはダウンロードなどを禁止でき、iPadや各種ブラウザで閲覧が可能です。

■ Brava for FileServerとAstack

Astackは、フォルダツリーの構成を変えずにWebポータルを生成するファイルサーバー文書共有システムです。ファイルサーバーに保存されたOfficeファイルやPDF、CAD図面、画像ファイルなどをフォルダー構造を変えることなくそのままWebポータル用に変換し、Webポータル化した後は手軽にダウンロードできるほか、PDF形式での表示が可能です。また、公開した文書を他のデータベースと同様に全文検索できるほか、Webポータル構築の定期的なスケジュール実行やファイルサーバーへのアクセスログの記録･集計などの機能も搭載しています。

Astackは単体でもご利用いただけますが、高度なファイルビューアオプション(Brava)を併せたBrava for FileServerとしてご利用いただくことで、ファイルの持出し制御などのセキュリティ対策やCAD図面ファイルの閲覧といったニーズにも対応いただけます。

無料遠隔デモンストレーション実施中

Brava製品は現在、弊社リモートツール(ISL Online)を使用して、オンラインで無料の製品説明を行っております。インターネットに繋がるPCと電話さえご用意いただければ、どこからでも遠隔デモにご参加いただけます。

製品の詳しい情報は、Webサイトをご覧ください。　Brava ファイルサーバー

膨大な図面や文書を電子化し、ナレッジの共有をBrava for FileServerで実現。

最新導入事例

株式会社竹中工務店 様

Brava for FileServer導入の効果について、ご担当者の皆様にお話を伺いました。

― どのような背景でBrava for FileServerを導入されたのでしょうか。

導入のきっかけは、2013年に文書共有システム「Net-It Central」の販売が終息したことです。これに代わるナレッジ共有ソリューションを構築する必要がありました。竣工後のドキュメントは内容も様々ですが、ファイル形式も多様で、Office文書やPDFに加え、CADなどのデータも含まれています。そこで、多彩なフォーマットに対応している「Brava Enterprise」を選択しました。Net-It Centralが実現していたエクスプローラ風のツリー表示は、株式会社NHKテクノロジーズ社の「Astack」を合わせて利用することで、これまでのユーザーの操作画面を大きく変更することなく運用を継続することができました。※

※ 現在の「Brava for FileServer」には、「Astack」が標準で搭載されています。

竹中工務店のITデバイス導入

― Brava for FileServerをどのように運用されているのでしょうか。

Active Directoryとの連携によるアクセス管理のほかに、印刷やダウンロード禁止の機能を利用してセキュリティを確保しています。文書・図面を閲覧しても端末側に元ファイルが渡らない点もセキュリティの確保に大きく役立っています。Web上で公開したいドキュメントは、データ変換などの事前作業をすることなくフォルダに保存するだけなので、最新情報をすぐに反映できる点を評価しています。とにかくドキュメントの数が多いのですが、登録や閲覧でストレスを感じることはありません。当社には毎年改正される「設計・施工標準」などの社内の標準類文書がありますが、この閲覧がWeb上で簡単にできるようになったので、担当者は分厚い冊子を持ち歩く必要がなくなりました。

■「あると便利」から「ないと困る」存在に

建設ドキュメントの中でも、企画提案書は数百ページにも及ぶ場合が珍しくありませんが、表示スピードで不満を感じたことはありません。1年間に竣工するプロジェクトは300件程度あり、それぞれ膨大なドキュメントが作成されていますが、これらの追加にもスムーズに対応できています。20年以上にわたって電子化を進めてきましたが、Brava for FileServerをはじめとしたナレッジ共有の仕組みは「あると便利」な存在ではなく、もはや「ないと困る」という必須の業務ツールになっていると感じています。

Web 画面共有ツール

Surflyとは

簡単に安心してすぐにつながるWeb画面共有ツールです。
ソフトウェアのダウンロードやインストールが一切不要で、ブラウザさえあればいつでも手軽に対象のWebページのみを画面共有できます。

昨年７月に登場した、Web画面共有ツール「Surfly」。どんな機能があるの？どんな風に使えばいいの？という皆様の声にお応えし、今号もSurflyの機能をピックアップしてご紹介します！

第2回 マスキング機能

マスキングとは、開示すべきではない部分や見せたくない箇所を隠すことを言います。マスキングを活用することで、大事な情報を扱っているお客様も安心して画面共有をしながらサポートを受けることができます。

1 入力フォームのマスキング

例えば連絡先、病歴、家族構成や年収など、お客様とオペレーターとの間で共有する必要がない情報を隠したいと思ったことはございませんか。入力フォームのマスキングはわずか１行の文字列のコードを埋め込むだけで簡単に実現できるため、Webページを頻繁に変更する環境でも簡単に導入・運用いただけます。

2 実行・決定ボタンのマスキング（無効化）

PCの操作が不慣れなお客様の代わりにオペレーターがマウスを操作した場合でも、最終アクションである大事な「実行・決定」ボタンのクリックは、必ずお客様側で行う運用にしたいと考える企業様も多いのではないでしょうか。「実行・決定」ボタンのマスキングを使うと、オペレーター側にマウス操作の権限がある場合でも、対象となる「実行・決定」ボタンは無反応となるため、事故や操作ミスを未然に防ぐことができます。

3 特定Webページのマスキング

Web上でソフトウェアキーボード等によるパスワードの入力を行う仕組みの場合、入力した文字が●●●で表示されていても、キーボードページが画面共有されていては意味がありません。このような場合は、キーボードページそのものを非表示にすることで解決できます。

4 Webページ要素のマスキング

Web上で公開している特定の要素をあらかじめ管理画面で登録しておき、画面共有をしている相手に見せないようにすることができます。マスキングされた要素は、グレーアウトして表示されます。

Surflyは14日間の無料体験版をご用意しております。
製品の詳細はWebページをご覧ください。

Surfly

最新導入事例

株式会社フォトラクション 様

自社クラウドサービス「Photoruction」の運営における画面共有ツールの役割や、Surflyの評価などについて伺いました。

「セールス」における画面共有ツールの重要性 ～無料体験版だけでは成約に至らない理由～

クラウドサービスは無形の商品ですから、資料や口頭説明だけでお客様の理解や納得をいただくことは極めて困難です。実際の画面そのものを見ないと何もイメージできないでしょう。そこで、世の中の様々なWebサービスやクラウドサービスと同様に、Photoructionも無料体験版を用意しており、いつでも自由に試していただくことができます。しかし、無料体験にお申し込みいただくことが、そのまま自動的に成約に繋がることは滅多にありません。ご登録いただいても使われずに期限を迎えてしまうことも多いです。想定される理由の１つは、お客様にとってPhotoructionが慣れ親しんだ何かの代替製品ではないからでしょう。初めて使う無料体験版を操作し「なるほど業務をこんな風に改善できるのか」という理解まで、自力でたどり着くことのできるお客様は少数です。ですから、お客様の課題や業務フローを把握した上で、「御社の場合には、Photoructionをこのように使うと、業務がこのように変わります」と提案する必要があります。おそらく他分野のクラウドサービスでも、今までには無いタイプのものであれば同じことが言えるのではないでしょうか。これまで電話やメール、展示会出展など色々な手段で試行錯誤を重ねてきましたが、現在は画面共有ツールを組み込んだ、確度の高いセールスプロセスが整いつつあります。

「Photoruction」の画面例

Surflyを実際に使った上での評価をいただけますか？

特に以下の点が気に入っています。

画面共有が簡単

お客様に接続用のURLを送って開いてもらうだけで、簡単にWeb画面を共有することができます。専用のプログラムをインストールする必要がないため、ダウンロードや接続規制を設けているようなセキュリティに厳しいお客様のサポートでも問題ありません。

Web画面以外は共有されない

「画面共有」と言われると、自分のPCのデスクトップやフォルダの中まで全てを見られてしまうのではと不安に感じて抵抗を示すお客様もいらっしゃいます。Surflyは対象のWeb画面のみが共有されるので安心です。この安心感はこちら側の画面を見せる時にも同様で、うっかりお客様に見せてはいけないものを見せてしまうリスクも無くせます。

操作権限の受け渡しが簡単

サポート時には「こちらの操作を見せる」と「お客様の操作を見せてもらう」の両方が必要な場合がありますが、Surflyは操作権限の受け渡しが簡単なので、お客様にストレスを与えることがありません。

編集後記

売り声もなくて 買い手の数あるは
音に知られる風鈴の徳

優しい風に揺れながら、チリン、チリンと澄んだ音色を奏でる軒先の風鈴に涼しさを感じる季節に入りました。

冒頭の歌は、江戸時代に流行した狂歌で、風鈴売りの様子を詠んだものだそうです。当時はあらゆる日常品が、天秤棒を担いで通りを往来する大勢の物売りたちによって売られていましたが、物売りたちが販売のためにさまざまな売り声を張り上げる中、風鈴は何もしなくても風に吹かれて自然に良い音を響かせるので、風鈴売りだけは声をあげることがなかったそうです。

夏の風物詩に欠かせない風鈴ですが、その始まりははるか昔、中国の唐の時代に風の向きや音の鳴り方で吉凶を占う「占風鐸（せんふうたく）」だと言われています。日本には仏教とともに伝わり、平安時代には貴族が魔除けとして軒先に吊るしていたそうですが、やがて西洋からガラス文化が伝わり、江戸後期になってようやく庶民にもガラスが買える値段になると、風鈴はごく素直にその輝きや音色の涼しさを楽しむ夏の風物詩として、日本人の生活に深く浸透していくようになりました。

風鈴に限らず、神社の鈴や除夜の鐘、弓の弦音など、日本では昔から音に対して耳だけでは終わらない、どこか不思議な感覚を思い起こさせます。最近は風鈴の音が騒音と考える方も少なくないようで、価値観が多様化する現代では仕方のないことと思いますが、少しだけ寂しさも覚えてしまう昭和生まれでございました。

皆様にとって、快適で過ごしやすい季節となりますように。本誌は今後も製品の最新情報はもちろん、会社の取り組みなどのコンテンツを充実させながら、皆様のお手元へお届けいたします。

本誌を読んでのご感想・ご意見も是非お聞かせください。次号もどうぞ、お楽しみに。

（編集：マーケティンググループ）

OceanBridge Magazine Online公開中！

OceanBridge Magazine や製品Web サイトではお伝えしきれない弊社製品に関する情報や、つかえる IT の活用ノウハウ、最新の話題関連などを発信しています。本誌「OceanBridge Magazine」のオンライン版としてご覧いただけます。

新着情報を
いつでもどこでも
「サクッと」スマホで
閲覧できます。

https://media.oceanbridge.jp/

ご感想・ご意見をお待ちしております

本誌をご覧いただいたご感想・ご意見をお聞かせください。
ご感想やご意見はこちらのQRコードからご投稿ください。 ☞

※読み取れない場合はこちらから▼
https://media.oceanbridge.jp/form/OBMenquete

OceanBridge
つかえるITを、世界から。

発行
株式会社オーシャンブリッジ
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-20-8 寿パークビル7F
Web:https://www.oceanbridge.jp/ Email:sales@oceanbridge.jp

・記載の社名または商品名等は、各社の商標または登録商標です。